

# 日銀レポート…… さいたま経済探訪

国内および埼玉県内の高齢化が進む中で、老後資金への関心が高まっていくように思われます。日々の生活が精いっぱいの中で、資産形成などを考えられないという方もおられると思われませんが、一境も整備される中で、若年層も広世代でも老後を意識した資産形成を始める人が少なくなると言われています。

資産形成についての考え方も最近では大きく変わったと感じます。以前は資産形成イコール投資と聞いた具合に、株式などのリス

ク資産を「安く買って高く売る」ための方法が議論の中心で、デイトレードなどの短期売買についての手法を学ぶ人が多かったように思われます。最近ではNISA少額投資非課税制度などの制度環境も整備される中で、若年層も広く投資に取り組むようになってきています。「長期・積立・分散」を意識した投資によって、短期的ではなく中長期的な利益を得ることを目的とする人が多くなっているように思えます。

老後資金についての記事は、新

清水 雅之 日 本 銀 行 調 査 統 計 局  
調 査 主 幹 埼 玉 県 経 済 総 括



しみず・まさゆき 1965年生まれ。東京大学経済学部卒。88年日本銀行入行。政策委員会企業企画役・審議委員スタッフ、調査統計局企画役員、内閣府政策企画調査官（統計委員会担当室）、国民経済計算部などを経て、2016年4月より現職。

## 老後資金に関する考え方

間、雑誌、ネットなどに頻繁に掲載されており、私も拝読する機会が少なくありません。そうしたメディアが取り上げる内容もその時々で変化しているように思われます。以前は、いかにして多くの老後資金を形成していくかという観点の記事が多かった印象が、最近では資産が十分にあるにもかかわらず、老後資金に関する記事が少なくない印象があります。これは、老後資金に関する記事が、単に老後資金を形成するための方法を紹介するだけでなく、老後資金の使い方、老後資金の活用方法などについても注目されているように思われます。

老後資金に関する記事が、単に老後資金を形成するための方法を紹介するだけでなく、老後資金の使い方、老後資金の活用方法などについても注目されているように思われます。これは、老後資金に関する記事が、単に老後資金を形成するための方法を紹介するだけでなく、老後資金の使い方、老後資金の活用方法などについても注目されているように思われます。

う観点の記事が多かった印象が、最近では資産が十分にあるにもかかわらず、老後資金に関する記事が少なくない印象があります。これは、老後資金に関する記事が、単に老後資金を形成するための方法を紹介するだけでなく、老後資金の使い方、老後資金の活用方法などについても注目されているように思われます。

老後資金に関する記事が、単に老後資金を形成するための方法を紹介するだけでなく、老後資金の使い方、老後資金の活用方法などについても注目されているように思われます。これは、老後資金に関する記事が、単に老後資金を形成するための方法を紹介するだけでなく、老後資金の使い方、老後資金の活用方法などについても注目されているように思われます。